



株式会社 梶原鉄工所 2023 年度脱炭素活動報告

2024.05.31

株式会社 梶原鉄工所
総務部

1. 目的

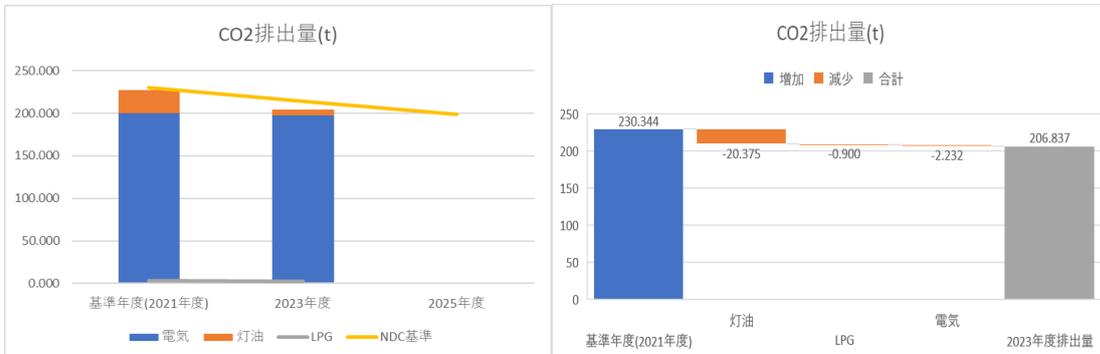
2023 年 9 月 19 日付「当社の脱炭素活動とトランジション戦略」に基づいて進めてきた 2023 年度の当社脱炭素活動について報告する。

2. 結果

2023 年度の Scope1、Scope2 における CO2 排出量は **206.8 トン** となり基準年度（2021 年度）比削減量は 23.5 トン（10.2%）であった。トランジション戦略に記載した削減量 88.4 トン（38.4%）には及ばなかったものの、NDC 水準基準の削減量 15.9 トン（6.9%）はクリアした。

CO2 排出量(t)	排出量	削減量	削減率
基準年度(2021 年度)	230.344		
2023 年度	206.837	-23.507	-10.2%

3. 分析



各対象項目の CO2 排出量内訳は上図の通り。実消費を下表に示す。

各消費量 単位	電気 (kWh)	灯油 (L)	LPG (kg)
基準年度(2021 年度)	413,488	10,814	1,100
2023 年度	432,566	2,628	800

- 電気に関しては総使用量が増加したものの、新工場移転に伴い、CO2 排出量としては若干削減となった。貴の途中の移転に殿内、予定していた新工場屋上太陽光の効果も十分に発揮されなかったことと移転中において新工場、旧工場が並行稼働した時期も



あり、使用量が増加したことが要因と思われる。

- 灯油消費は大幅に削減された。これは新工場移転に伴い、工場暖房熱源を灯油から電気に切り替えた効果が大きい。
- LPG に関しては日常の削減意識による効果であると考ええる。

4. 結論と今後（次年度以降）の活動

阻害要因はあったが2023年度は目標をクリアできなかったもののNDC水準削減量はクリアできた。2024年度以降は期初から新工場での活動になるため、これまでの脱炭素活動を精度を上げて継続することにより、目標値達成を図る。

更なる排出量削減を図れる要素がないかについても継続して検討していく。

併せて Scope 3 管理に対する可能性についても検討する。

以上